

# School Library

No. 9

さいたま市立桜木中学校

平成 29 年 1 月 24 日

あけましておめでとうございます。2017 年、みなさんはどのような一年にしたいですか？  
図書委員会の全体目標は「本は友達 目標 5,250 冊～心躍る本との出会い～」です。本を読むと世界が広がり、目標達成につながるヒントが隠れているかもしれません。今年も桜木中の図書館を利用して、たくさんの本を読んでください。



## 「冬の本祭り」実施中！！

秋に引き続き、現在図書館では「冬の本祭り」を実施中です。対象の本を借りてスタンプをため、景品と交換しましょう。みなさんの参加をお待ちしています。

期間：1/17（火）～2/24（金）まで

内容：表紙と背表紙に緑色のシールが貼ってある本が対象です。これは図書委員おすすめ本と先生方のおすすめ本になります。本を借りスタンプをためます。5 ポイントずつで、図書委員会手作りの景品と交換できます。

## 図書委員会アンケート結果

2 学期に実施したアンケート結果がまとまりましたので、報告します。

Q1、週に何回、図書館に来ますか？

|     | 1 年生         | 2 年生          | 3 年生          |
|-----|--------------|---------------|---------------|
| 1 位 | 0～1 回 (87 人) | 0～1 回 (103 人) | 0～1 回 (105 人) |
| 2 位 | 2～4 回 (31 人) | 2～4 回 (21 人)  | 2～4 回 (16 人)  |
| 3 位 | 5 回 (0 人)    | 5 回 (0 人)     | 5 回 (0 人)     |

Q2、どんな本を借りますか？（\*全学年のランキング）

1 位：小説 (253 人)

2 位：アニメ関係の本 (59 人)

3 位：その他 (48 人)

Q3、これからも図書館に来たいですか？（\*全学年のランキング）

|     |         | 人数    | 主な理由              |
|-----|---------|-------|-------------------|
| 1 位 | どちらでもない | 213 人 | どんな本があるのかわからないから。 |
| 2 位 | 来たい     | 128 人 | 本が好きだから。          |
| 3 位 | 来たくない   | 23 人  | 外で遊びたいから。         |

## 先生方のオススメ本紹介

先月号に引き続き、先生方のオススメ本紹介を掲載します。長く連載してきましたが、今回で終了となります。

### SWD先生

#### 『友情』 武者小路実篤/新潮社

大正から昭和にかけて活躍した小説家です。そう聞くと難しいかなと思いますが、この「友情」は「恋愛と友情」がテーマで、とても読みやすいです。自分だったらどうするのかな？と考えながら読めるのでぜひ読んでみてください！

### MT先生

#### 『なでしこの告白』 週刊サッカーマガジン/ベースボール・マガジン社

2011 年、ワールドカップ、ドイツ大会で「優勝」した、なでしこジャパンのメンバー 21 名、一人ひとりが、思いや気持ちを書いた 1 冊です。中学生の君たちにも身近なスポーツという中で、感銘をうけるであろう言葉や思いが、とても読みやすく、まとまっている本です。内容はサッカーが主ですが、置きかえてみれば普段の生活の中でも、感じ、通ずる内容だと思います!!是非、一読を!!

\*裏面へつづきます。

## MY先生

『ピーチャと学校友だち』 ソーノフ/ポプラ社

ソ連の学校が舞台です。友達と上手くいかなかったり、苦手な教科を克服する方法だったり、学校生活でつまづいている人に読んでほしい1冊です。

## ID先生

『さぼてんねこのさぼにゃんこころのアカをおとす本』 戸田充広/マガジンランド

生きてると落ち込んだり、悩んだり、色々ありますよね…そんな時に読むと励まされたり、自分を大切にしようって思える心が温まる本です。きっと「今の自分」にピッタリのメッセージがあるのではないのでしょうか？

## TD先生

『ハッピーバースデー』 青木和雄/金の星社

主人公、主人公を取り巻くいろいろな人の立場にたって、是非読んでみてください！

## SD先生

『おかれた場所で咲きなさい』 渡辺和子/幻冬舎

日頃の小さなモヤモヤ、イライラも“こういう感じで捉えたらいいのか…”と新鮮な気持ちになります。

## NG先生

『博物誌』 ルナール/新潮社

「一匹一匹が、3という数字に似ている。それも、いること、いること！どれくらいかというと333…」、「私のは〇を食わないそんなことをするのがいやなのだ。つかまえてもそれを玩具にするだけである」何だか、分かるかな？

『風の歌を聴け』 村上春樹/講談社

ノーベル賞の季節になると、名前がでてくる作家。初期三部作の一つ。キーワードは、「僕」と「鼠」。この作品が好きになると、以降の作品も読めるかも？

『プレイバック』 レイモンド・チャンドラー/早川書房

チャンドラーは、探偵フィリップ・マーロウに、いろいろな名言を語らせます。この作品では「しっかりしていなかったら、生きていられない。やさしくなれなかったら生きていく資格がない」。強くなりたい人、強い人が好きな人。良かったらどうぞ。

## SZ先生

『アドルフに告ぐ』 手塚治虫/講談社

『ブラックジャック』 手塚治虫/秋田書店

『オリエント急行殺人事件』 アガサ・クリスティー/ポプラ社

中学生にも興味をもてそうで、面白くてためになると思います。

## 学校図書館司書 HN先生

『ツバキ文具店』 小川糸/幻冬舎

主人公雨宮鳩子の職業は代書屋で依頼人に代わって手紙を書きます。相手や内容によって紙やペンを選び、気持ちを込めて書く。「手紙」だからこそ伝わるものがあることに、気付かせてくれる一冊です。